

参加費
無料

定員
500名

事前申し込みが
必要です

Hear
Well
Enjoy
Life

Hear Well Enjoy Life

～快調な“きこえ”で脳も心もすこやかに～

感音難聴には急に起こる突発性難聴や急性低音障害型感音難聴や音響外傷などがあります。一方、慢性的に生じている難聴は加齢性難聴などがあり治療が困難とされています。難聴を治療せずにそのまま放置していると、認知症やうつ状態をも生じさせることがあります。

人工内耳とは音を感じ取る内耳の役割を代替し、難聴がある人々に音が聞こえるようにするための人工機器です。聴こえを助けるための機器として補聴器が広く知られていますが、補聴器での効果が不十分な方にとっては人工内耳は効果的な聴覚改善法といえます。

難聴には治療方法があることをより多くの方々に理解していただくために、身近で支えるご家族様もぜひご参加ください。



4 / 20 **土**

開場13:00／開演13:30
終了予定15:30

会場 ↓

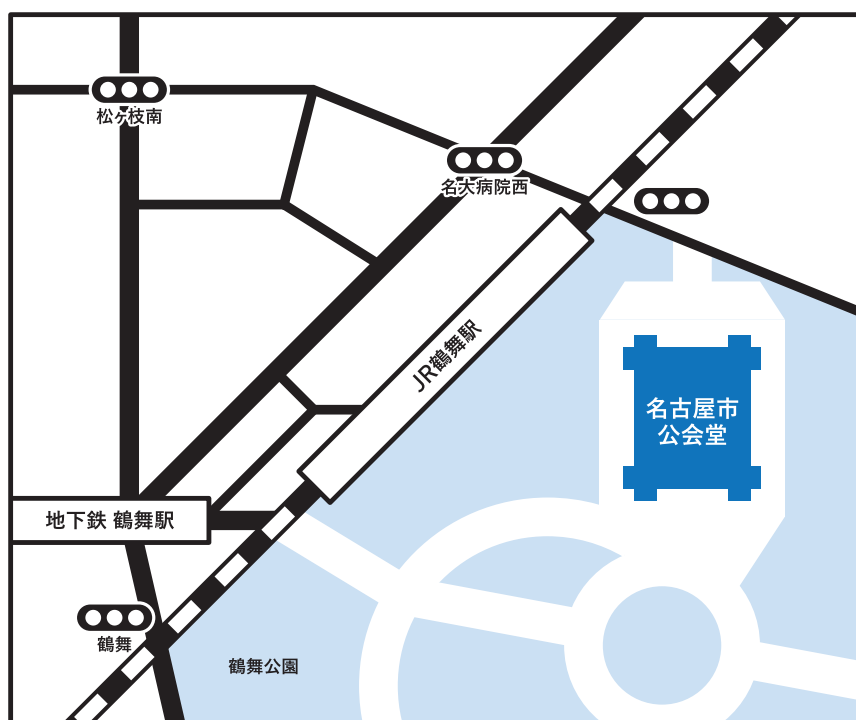
名古屋市公会堂
4階ホール

〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞1丁目1-3
<https://nagoyashi-kokaido.hall-info.jp>

交通アクセス ↓

- 地下鉄鶴舞線「鶴舞」下車 4番出口 徒歩2分
- 市バス「鶴舞公園」下車 徒歩3分
- JR中央線「鶴舞」下車 徒歩2分

※会場周辺の駐車場は「有料駐車場」となっています。台数に限りがあり長時間の駐車は高額となりますので公共交通機関のご利用をお勧めします。



応募方法は 裏面 をご確認ください ……………>

Program プログラム

01. 開会挨拶



「“きこえること”の大切さ・素晴らしさ」

名古屋大学医学部

耳鼻咽喉科教授／難聴支援・治療センター長

曾根 三千彦先生



02. 講演①



「きこえと耳鳴」

名古屋大学医学部

耳鼻咽喉科助教／難聴支援・治療センター

小林 万純先生



03. 講演②



「これからの難聴治療 ～補聴器や人工内耳で広がる人生」

名古屋大学医学部

耳鼻咽喉科准教授／難聴支援・治療センター

吉田 忠雄先生



..... 休 憩 〈15分〉

人工内耳装用者体験発表

まとめの挨拶



曾根 三千彦先生

.....> 応募方法

住所(〒)、氏名(ふりがな)、参加人数、参加者全員の氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号、聴こえに関する疑問、質問(ある方のみ)を明記のうえ、インターネットよりご応募ください。

*応募多数の場合は受付期間中でも応募を締め切る場合がございます。
予めご了承ください。

<https://que.digital.asahi.com/epost/11013209>

応募はコチラから>>>



応募締め切り

4月19日(金)23:59

●お問い合わせ／朝日新聞名古屋本社「きこえの公開講座」事務局 Tel: 052-222-5100 (平日10:00～17:00)